

負荷アンモニア PET/CT 検査を受けられる患者さんへ

検査日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ : _____ (30分前に御来院ください)

1. 検査について

心筋の血流と機能を画像化して定量化する検査です。安静時および負荷時に薬剤を投与しての検査の2回に分けて検査します。放射性薬品（¹³N アンモニア）を静脈に注射して検査します。

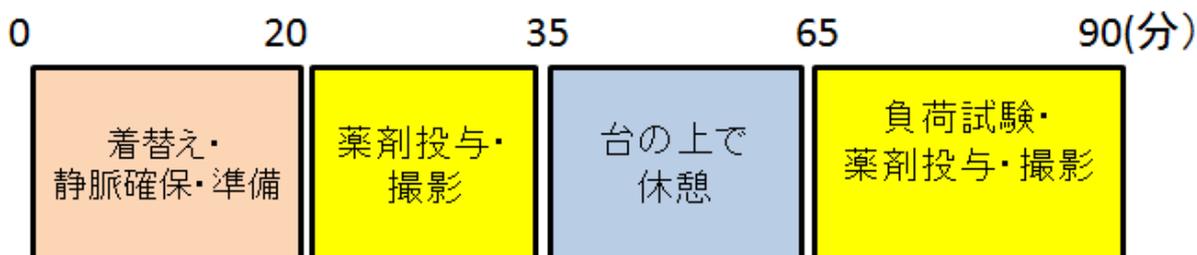
2. 検査前（当日）の注意

- ① 食事： 当日の朝食は通常通り召し上がってください。水分は十分にとって下さい。但し、カフェイン飲料（緑茶・紅茶・コーヒー・コーラ等）は朝から絶対に飲まないで下さい（摂られた場合は検査が中止になります）。 昼食は摂らないで来て下さい。
- ② 服薬： 原則として当日朝、昼の薬は中止してください。
- ③ 検査終了後： 薬、食事、飲水制限はありません。

3. 検査前の準備： 特に準備するものではありません。生活の制限もありません。

4. 検査方法と所要時間

検査時間は全体で約1時間30分くらいです。



5. その他

放射性医薬品は造影剤とは異なり、造影剤アレルギーや腎障害の方にも安全に検査が可能です。

6. 予約の変更およびキャンセル

検査予約の変更および取り消しは電話で可能です。予約された日時に来院出来ない時は前日16時までに検査室に必ずご連絡頂き、変更や取り消しをして下さい。その際、下記の説明医師の名前をお伝えください。

核医学検査室 電話番号 03-3341-5493(直通)

受付時間 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00

検査室名： 核医学PET検査室（外来センターB1F）

説明医師名 _____

薬剤負荷アンモニア PET/CT 検査 説明書・承諾書

患者名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 歳

ご連絡先（電話番号） _____（ _____ ） _____

この検査は、ポジトロン核種の N-13 アンモニアという放射性薬品を安静および薬物負荷（アデノシンという心臓の血流を増加させる薬剤を静脈から投与）した後に、それぞれ PET/CT 装置で撮影を行います。心臓の血流状態を、従来の検査方法にくらべてより正確に診断できる利点があります。

検査に用いられるアデノシン負荷は極めて安全な検査法で、当院でも本薬剤を用いた負荷心筋シンチグラフィにより日常診療で年間約 1000 例が実施されていますが、治療を要する事故は最近 5 年間で 1 例もありません。重篤な副作用としては高度の伝導障害によるショックや高度の心筋虚血の誘発による心筋梗塞などがあります。しかし、これまでの報告ではそれらの重篤な副作用は 4000 例に 1 例以下とされています。使用する N-13 アンモニアの被曝量は低く、約 1.6mSv です。同時に使用する CT 撮影分（1.7mSv）で計 3.3mSv の被曝が発生しますが、被曝量としては健康に影響する線量ではありません。また、この薬剤による将来影響する副作用はありません。

検査に要する時間は約 90 分です。

以上、当検査の必要性和安全性を十分に御理解いただいた上で、検査に同意いただける場合には下記にご署名を下さるようお願いいたします。

年 月 日

患者氏名（自筆） _____

なお、患者本人が未成年の場合、または意識障害などで署名できない場合には、代諾者（配偶者、保護者、その他の親族）が署名してください。

同意者：患者 _____ の代諾者 氏名 _____ 続柄 _____

説明医師： 氏名 _____

なお、御同意を頂きましても、病状や全身状態、基礎疾患により検査を施行できない場合には検査担当医師の判断で検査を変更・中止する場合があります。また、本人および代諾者の意思により、いつでも同意を撤回することが可能です。